型部 関西生コン弾圧事件ニュース NO. 68 2022年1月18日

<本号3ページ>

●本号の内容 検察官が「組合脱退勧奨」

• p1

検察官が「組合脱退勧奨」

取調べ映像再生であきらかに(1/17大津地裁)

問われた全日本建設運輸連 帯労働組合関西地区生コン て威力業務妨害などの罪に 西直樹裁判長)であり、検 の公判が17日、 支部(関生支部)委員長の 湯川裕司被告 技術を教える人材育成事業 察官が組合員を取り調べた 企業の研究開発を支援した 生コンクリートの調達を する過程で亀岡市への企業 も展開する。 フロジェクトを支援したり 検察官、組合脱退 一致などにも取り組む。 施設・設備を貸し出して 関西生コン事件公判弁護側 労働組合からの脱退を 企業との共同研究開発 工事を妨害したとし 京都新南 、大津地裁(大 (49) 56人 調べ映像で、 の山本智被告(53)の取り 山本被告に対し、「また逮 12月、大津地検の検察官が フォームとなり、新たなイ はしんどくないか」「今後 提出した。2018年11~ とも高速道路でつながり恵 都市に近く、府北部や南部 長は もこのままいくのか、状況 捕されるかもしれないと思 拠点としていきたい」と述 まれた環境。幅広い連携の 前田正史学長は「亀岡は京 こってほしい」と期待し、 ノベーションが亀岡から起 を変えるなら今しかない」 いながら組織にい続けるの 上映されたのは、 、映像上 促 「センターがプラット L 弁護側が証拠 た 映 大津地裁 などの発言が記録されてい 他の組合員らと共謀し、17 ぶしの意図が明らかで、 年2月、大津市の住宅建設 察官による公訴権の濫用 は公判後の取材に「組合つ 調べ映像を証拠提出するの 県警や京都府警などに逮捕 部の幹部や組合員らが滋賀 法と労働組合法で保障さ が専門の研究者78人が 中断させて業務を妨害し がはみ出している」 工事現場で住宅会社の現場 だ」と述べた。 は初めて。太田健義弁護士 された一連の事件で、 れた正当な労組活動が犯 言いがかりを付け、 責任者らに「ブルーシート 弁護団によると、 事件を巡っては、 などとしている。 一などと 工事を

検察が不当逮捕された組合員に関生支部脱退を働きかけていた事実が、1月17日、大津地裁の公判であきらかになった。

●「組合つぶしの意図が明白。検察官の公訴権濫用」

その後、弁護団が請求した検察の取調べ動画が法廷で再生された。不当逮捕された組合員の山本智さんに対し、担当の横麻由子(よこ・まゆこ)検事が組合脱退をくりかえし働きかける場面が法廷の画面に映し出されると、裁判長らは食い入るように画面に見入っていた。

検察による労働組合脱退の働きかけ――。この衝撃的なニュースは、同日夜の京都新聞デジタル版で、「組合つぶしの意図が明らかで、検察官による公訴権の濫用だ」との弁護団コメント入りで一報が流された。そして、今日 19 日の朝刊で大きく報じられた。(写真上)

●横検事の主な発言(法廷メモによる)

法廷で再生された動画は、2018年11月28日、同年12月6日、同年12月12日の3日分。 以下は、法廷で動画を視聴しながらメした横検事の主な発言。山本組合員が「黙秘します」と なんども明言しているのに、横検事は無視。執拗に組合脱退を働きかけていたことが分かる。

<11月28日>

横検事「他の労組員はコンプラ活動が大変や、ストレスに感じている人がいる。間違っていると 思っていなければストレスに感じないはずですよね」

山本「黙秘します」

横検事「戻ったときに、また同じ活動を続けるんですか、それともこれを機会に考え直すのか。 ちょっとでも疑問を感じることがあるなら、これを機会にもう一度考え直すこともできると思う」 (次ページに続く)

発行:全日建(全日本建設運輸連帯労働組合) お問い合わせ03-5830-6418

山 本「黙秘します」

横検事「今後も活動を続けて、また逮捕されるかもしれないと思いながら続けるのは、しんどく ないですかね」

山本「黙秘します」

横検事「少しでもおかしい、しんどいと思うのなら、続ける必要があるんでしょうかね。ずっと 続けていくのはどうなんでしょうかね」

山本「黙秘します」

横検事「今後もこういう活動を続けていくのがあなたにとって良いのか。これを機に、考えてみ る機会にしてはどうなのか」

山 本「黙秘します」

横検事「暴力団とかで上が恐いから話せませんとか、自分のために話せない、自分のポリシーとか、いろいろある。誰かが恐いからとか、しゃべると組織内で待遇が悪くなるとかあるんですかね?」

<12月6日>

横検事「連帯の労組員を続ける気持ちは変わらないんでしょうかね。今後も同じ活動を続けていたら同じことになると思うんですよね。同じ状況になっても続けていく意味はあるんですか?」

山本「黙秘します」

横検事「選択肢として、すっぱり辞めるというのが難しいことはわかっています。でも、連帯辞めますという人もいますよ。このまま続けて良いのかという気持ちがあるならば、今回がきっかけになるんじゃないでしょうか。労組員からつらいことが多いと聞いている。 黙秘して労組員続けるのが、それでいいのかなと思うですよ。」

山本「黙秘します」

横検事「連帯を辞めると今後の生活だがきびしくなるとか、そういうことがあるのか。辞めることによっていやがらせをされるんじゃないかとか、不安があるんでしょうかね」

山本「黙秘します」

横検事「このまま黙秘を続けて労組員を続けていくことが山本さんにとって良いのかなと思うん ですよ」

山本「黙秘します」

横検事「組合活動やっててこれだけ逮捕されるのは、やはりちがうんじゃないですか? もし、 ちょっとでも迷っているんなら、辞めるにしろ辞めるにしろ続けるにしろ、決断するの に気にかかっていることを私や警察に言ってほしいんですよ」

山本「黙秘します」

横検事「なんのために黙秘していますか?」

山本「黙秘します」

横検事「自分のためなのか、連帯のためなのか。自分のためというならそれはそれでいいけれど、 連帯という組織のためにするなら、そこまでする必要があるのかどうか。あなたがそこ までする必要はないと思うんですよ。」

山 本「黙秘します」

<12月12日>

横検事「しゃべると組合抜けることになって、仕事もなくなるので、しゃべりますって簡単でないことは分かってますけど。黙秘して連帯の残りますって方がいまはいいかもしれないけど。しゃべるのによほどの決意がないとできないのは分かるんですよ。」

山本「黙秘します」

横検事「連帯辞めますとか、しゃべりますというのがしんどいのは分かるけど、このままだと状 況が変わらない。いま決断しないと、状況が変わることはないと思うんですよね。しゃ べって辞めますという方が、新しく人生はじめた方が良かったと思うかもしれない。そうは思わないんですか? このままでいいんですか?」

山 本「黙秘します」

横検事「このままいくのか、いままでの生活を変えるのかの分かれ道だと思うですよね。また捕 まったときに、あのとき決断しておけばよかったと後悔すると思うんですよね。」

山本「黙秘します」

横検事「辞めたいと思ったことがあるんだったら、いままさに辞められる状況だと思うんでよね」 山 本「黙秘します」